



＋日赤みえ

2020 年度



オンラインによる青少年赤十字国際交流



献血の様子



三重県・伊勢市・玉城町・度会町総合防災訓練



手づくりマスクの作製

CONTENTS

特集

三重県支部・赤十字施設で新型コロナウイルス感染症対策を実施中！

- こころの健康を守るための予防ガイド・動画を配信中
- 菰野町に新しい地域奉仕団が誕生！！
- 令和元年度収支報告
- SDGs私募債により物品を寄贈いただきました
- 赤十字の活動を支援する様々な「寄付」のカタチ
- 本誌の内容についてのアンケートにご協力をお願いします

三重県支部・赤十字施設で新型

日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症の発生初期から、クルーズ船（ダイヤモンド・プリンセス号）や一時滞在施設への医療チームの派遣などに始まり、現在も日赤病院での患者、感染者の受け入れや感染症の予防啓発などに全力を尽くしております。

クルーズ船への
派遣職員数
延べ

142人



全国の赤十字病院で
感染者等を受け入れ

※令和3年1月12日現在

総受診者数

延べ24,744人

入院患者受入数

延べ4,611人



© Atsushi Shibuya/JRCS

一時滞在施設への
派遣職員数

延べ113人



三重県支部

コロナ禍でも、赤十字は講習を進めています

感染防止対策を徹底して講習会を開催！

コロナ禍であっても、大切ないのちと健康を守るための知識と技術を広めていくため、8月から短期講習会を再開しました。

現在、三重県支部では皆さまに安心して講習にご参加していただけるよう、開催・参加条件を設定し、感染防止対策を徹底のうえ講習会を開催しています。

※救急法養成講習会等（資格取得を目的とした講習会）については、現在救急法基礎講習のみ暫定措置を定めて実施しています。詳しくは三重県支部ホームページをご覧ください。



ソーシャルディスタンスを保ち講習を実施



三重県防災訓練で手洗い講習を実施

「手洗いトレーニングキット」を使って 洗い残しを見える化！



菌やウイルスは、自分たちでは動かず手指を介して拡散するため、正しい手指衛生は、感染予防対策として重要です。

講習では、「手洗いトレーニングキット」を使用し、普段は見えない洗い残しを見える化！

自分の洗い方の癖や、どこを意識して洗えばいいか確認し、正しい手洗いの重要性を学んでいただいています。

赤十字奉仕団が 作製！

手づくりマスクや 医療用ガウン・エプロンを寄贈

「普段どおりのボランティア活動ができなくても、少しでも役に立ちたい」

いなべ市、伊勢市、志摩市、朝日町の各地域奉仕団と桑名でのひら、いなべでのひら奉仕団はそんな思いから、新型コロナウイルス感染症の影響で不足するマスクや医療用ガウン・エプロンを作製しました。作製した物品は地域の社協や学校、福祉施設等へ寄贈しました。



医療用エプロン
作製の様子

コロナウイルス感染症対策を実施中！

伊勢赤十字病院

地域医療を守るため、そして安心して
受診していただくため**感染対策**を実施中！

発熱外来の設置

令和2年4月7日、新型コロナウイルス感染拡大に対し、政府が緊急事態宣言を発令したことを受け、当院では、4月13日より発熱外来を設置し、かかりつけ医からの診察依頼に対応しています。屋外から直接入室できる診察室を一般外来と異なる区画に整備することで、動線を完全に分けた体制を構築しています。



感染予防策の実施

来院される方へは、「マスクの着用」と「アルコール消毒液による手指消毒」をお願いしています。また、窓口へは飛沫防止のためのアクリル板やビニールカーテンの設置、椅子には間隔を空けていただくための掲示を行い、ソーシャルディスタンスの確保と感染予防に努めています。



病院内の様子



設置されたサーマルカメラ

サーマルカメラの導入

出入口にサーマルカメラを設置し、来院される全ての方への検温を実施しています。発熱症状のある方へは、看護師による問診等を実施し、他の患者さんと接触しない動線でご案内できる体制を整えています。

※発熱がある場合、主治医の判断により診察が延期となる場合もございます。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。



三重県赤十字血液センター

皆様に**安心して献血**に
ご協力いただくために

三重県赤十字血液センターでは、職員にはマスク着用を義務化、手指消毒の徹底、出社前・出社後に体温測定をし、体調に異常がないことを確認しています。献血者の皆さまにもマスク着用と検温、手指消毒をお願いしています。

献血ルームでは、

受付や問診室等に透明カーテンやアクリル板を設置し、飛沫感染予防を図っています。また、問診回答用タブレットやタッチペン、自動販売機やソファなどは定期的にアルコール消毒をしています。

献血バスでは、

飛沫感染予防の他にも、ソーシャルディスタンスを考慮し、車内に入る人数を制限することで密を避けることとしています。また、常時換気をし、車内空気の入替を行っています。

新型コロナウイルスの影響で、外出が制限される中でも
**全国で毎日約13,000人の方々の
献血のご協力が必要です。**

三重県赤十字血液センターでは、上記のとおり新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、皆さまに安心してお越しいただけるようにこれからも努めてまいります。皆さまのご協力を心よりお待ちしております。



ロッカーの消毒



献血バスの車内

コロナ禍を
乗り切るために…

こころの健康を守るための 予防ガイド・動画を配信中



令和元年の終わりごろに発生したのを皮切りに、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症。この感染症は「病気」だけでなく、私たちのこころの健康にも大きな影響を与えています。

日本赤十字社では、感染症からこころの健康を守るための予防ガイドや動画を作成しました。困難な時期を乗り切るための一助として是非お役立てください。



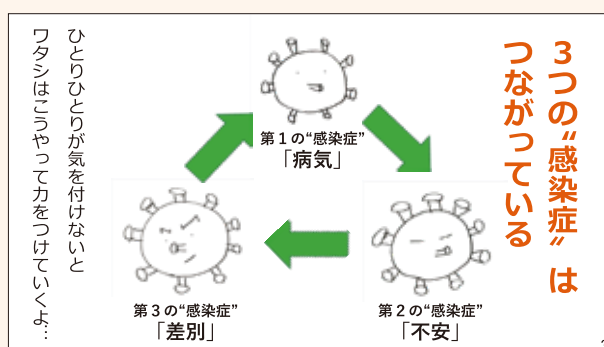
新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～



● 新型コロナウイルスの3つの顔とは？

新型コロナウイルス感染症には、実は「病気」そのものの以外にも、「不安」や「差別」といった「3つの顔」を持っています。これらが「負のスパイラル」としてつながることで、更なる感染の拡大につながってしまいます。

このガイドでは感染症によって生み出される「不安」や「差別」にスポットを当て、「負のスパイラル」を断ち切るために私たちができることを考えるガイドとなっています。



3



県政だよりみえ 11月号

● メディアを通した情報発信

本ガイドの作成にあたり伊勢赤十字病院 公認心理師の中井茉莉氏が執筆に協力しました。NHKや「県政だよりみえ」のインタビュー取材を通して、県民の皆さまに向けた情報発信を行っています。

● 人権学習に活用

感染症について正しく理解し差別をなくするため、県内の学校での人権学習に活用されています。

また三重県が作成した人権学習指導資料「なくそう！新型コロナウイルス感染症に係る偏見、いじめ、差別」にも掲載されました。



絵本アニメーション 「ウイルスの次にやってくるもの」



新型コロナウイルス感染症から、体だけではなく、心を守り、社会を守るための、心構えを伝える絵本アニメーションです。



「感染症流行期に こころの健康を保つために」シリーズ



隔離や自宅待機により行動が制限されている方やその周りにいる方、また高齢者や基礎疾患のあるみなさまの「こころの健康」を保つヒントとなるサポートガイドです。



菰野町に新しい地域奉仕団が誕生!!



奉仕団旗の贈呈

令和2年10月31日に菰野町に新しい地域奉仕団が結成しました。
地域を支える赤十字奉仕団を作ろうと集まった団員は277人。その内の50名程の団員が集い結成式を行いました。

結成式では柴田孝之分区長（菰野町長）から奉仕団旗と奉仕団ワッペンが、野呂昭彦支部長から炊き出し釜とテントが贈呈されました。

委員長に就任した北岡美智子氏は挨拶で、「人道博愛の精神を基本に災害支援活動や各種社会福祉活動に取り組み、住民の皆様に信頼されるボランティア団体として活動を推進していきたい」と抱負を述べました。

赤十字地域奉仕団とは？

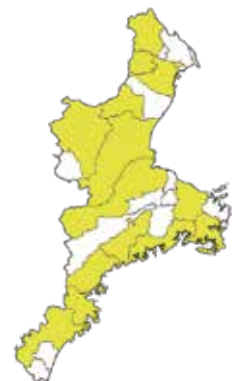
全国の市区町村で地域に根差した活動をしているボランティアグループです。

三重県には10市5町で全22団の地域奉仕団が活動しています。

活動内容は、地域における赤十字思想の普及・啓発や防災訓練への参加、災害時には炊き出し活動等を行い地域における赤十字の顔として活躍しています。

また、地域奉仕団の他にも学生や若手の社会人を中心とした「青年赤十字奉仕団」や特定の技術・能力（点訳、アマチュア無線、介護など）を活かした「特殊赤十字奉仕団」が活動しています。

三重県内には地域奉仕団が未結成の地がまだまだありますので、今後も赤十字が皆さまにとって身近な存在になるよう組織づくりに努めます。



地域奉仕団の組織状況
※白色の市町が未結成地

日赤三重県支部の活動資金にご協力いただき、ありがとうございました

令和元年度収支報告

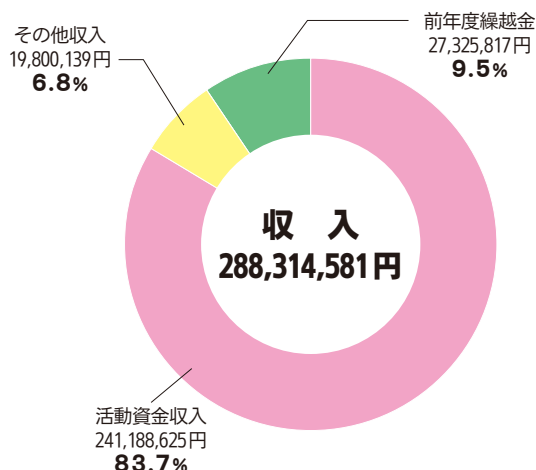
支部・管下施設の令和元年度収支決算については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から文書審議にて実施された評議員会にて、承認をされました。

県民の皆さまからの温かいご支援により、令和元年度も赤十字活動を展開することができました。温かいご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

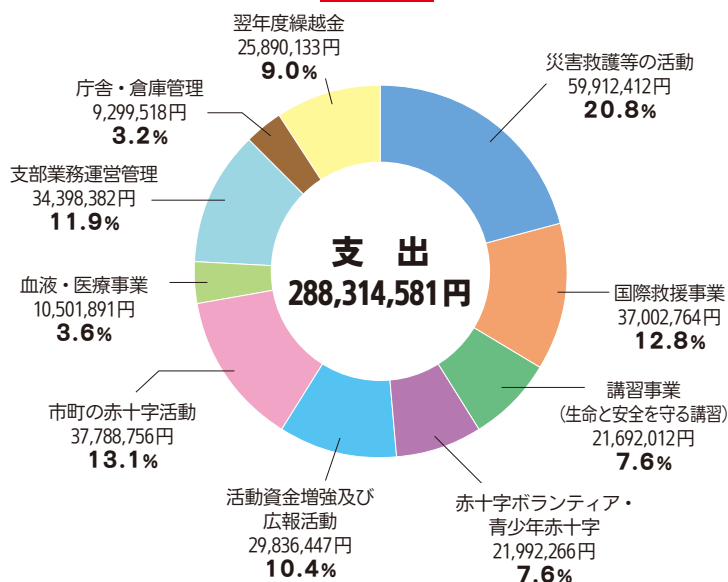


あたたかいご支援
ありがとうございます

収入



支出



※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれていません。

SDGs 私募債により 物品を寄贈いただきました

株式会社ランド・二十一様が発行された株式会社中京銀行様のSDGs私募債「みらいエール」の寄贈先として当支部が指定され、アルコール噴霧器6台をご寄贈いただきました。

ご寄贈いただいたアルコール噴霧器は、当支部の他、県内の血液センター・献血ルーム並びに伊勢赤十字病院に設置させていただいています。

※現在、多くの銀行様がSDGs私募債を取り扱っており、その寄付先・寄贈先として日本赤十字社をご指定いただける場合があります。
詳細は銀行様にご相談ください。



贈呈式の様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)とは？

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

日本赤十字社は、企業の皆さまにとって、SDGsと連動した事業を始める際に最も信頼できるパートナーでありたいと考えています。

赤十字の活動を支援する様々な「寄付」のカタチ

日本赤十字社三重県支部では、自治会・町内会・赤十字奉仕団の皆さまなどを通じて
いただくご協力に加え、様々な協力方法を用意しております。

クレジットカードで…

日本赤十字社のホームページからの登録により、クレジットカード決済でご寄付いただけます。毎年、毎月のご寄付など継続的に赤十字活動を支援することができます。



遺贈・相続財産寄付で…

自分の亡くなった後の財産や故人の遺産を社会のために役立ててほしいといった尊いご意思に応えるため、遺贈・相続財産等のご寄付を承っています。

▶無料ご案内パンフレットのお問い合わせは、
三重県支部まで。
(TEL: 059-227-4145)



不要な本・モノをお金に換えて…

ご不要になった本、ゲームソフト、時計・アクセサリ、パソコン等をブックオフにお贈りいただくことで、赤十字活動資金に協力することができます。



詳しくは、日本赤十字社三重県支部のホームページをご覧ください。

本誌の内容についてのアンケートにご協力をお願いします

下記アンケートフォーム又はホームページから
ご協力の程よろしくお願いたします。

応募
方法

右のアンケートフォーム 又は
三重県支部HPの活動情報一覧



応募
締切

令和3年
3月28日(日)まで

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。

ご協力いただいた方
の中から抽選で
10名様に
サコッシュバック
をプレゼント!

